

令和元年度第1回防府市図書館協議会

日時：令和元年7月25日（木） 午前10時～午前11時30分

場所：防府市役所 1号館3階南北会議室

■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、山本委員、河村委員、河村委員、新田委員、山崎委員、吉武委員、津田委員、山本委員（計10名）

（事務局）江山教育長、林教育部長、森川教育部次長、尾中教育総務課長、大野図書館長、徳永図書館管理室長

■傍聴者 1名

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和元年度第1回 防府市図書館協議会」を開催いたします。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、これからの会につきましても、藤村会長に議事進行をお願いいたします。

○議長

それでは、今回の会議につきましても前回と同様に、会議及び会議録につきましても、「公開」で進めてまいりますので、よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

では、「公開」ということで進めてまいりますので、よろしくお祈いします。

それでは、議事に入ります。

「議題（1）平成30年度事業実施状況の評価について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料1は、委員の皆様をお願いして、提出していただいたコメントをまとめたもので、同じ内容のものは1つにまとめさせていただき、ある程度、要約しました。●は、課題として提示されたもの、○は、内容を評価していただいた部分、◇は、図書館への要望としております。

資料2は、図書館から提出された自己評価のそれぞれの項目の後に、図書館協議会の意見の案として、事務局で皆様のコメントを要約したものをに入れてお

ります。

それから、本日お配りしたものは、図書館の貸出状況の詳細と、ここ3年間の利用状況の推移を表裏一枚の資料としてまとめておりますので、御参考にお使ください。

本日は、これらの資料を基に進めさせていただきます。

図書館の事業については、図書館長から御説明し、その後に私のほうから、意見案の御説明をいたします。7つの項目一つずつを交互に説明していき、御質問にお答えしながら進めたいと思います。

○館長

平成30年度になって、大きく変わった点を中心に御説明いたしますとともに、コメント等で御指摘いただきました課題について、図書館としての今後の取り組みを併せて御説明していきたいと思います。

資料2の1-(2)は、当初、提出した評価表の方には、平成30年度の館外個人貸出者数と冊数の記載が漏れておりましたので、今回追加させていただきました。併せて御覧くださいませ。なお、別紙資料にあるように、入館者数が昨年に比べまして、5,449人減少している中で、移動図書館車の利用者数は増加し、貸出者数は前年に比べて1,380人プラスになっております。しかしながら入館者数が漸減していることを踏まえ、今後は、ますますサービスの質の向上に努めますとともに、広報やイベントの内容を工夫するなど、利用者増につながる取り組みをしてまいりたいと考えております。

また、施設・設備のメンテナンスやセキュリティーの向上については、市と相談をしながら改善すべく取り組んでおり、今年度は、図書館入口および通用口の欄間部分の改修工事、また職員用エレベーターへの監視カメラの設置等が予定されております。空調の不具合等がございまして、利用者には御迷惑をかけておりますが、引き続き市に改修をお願いしてまいりたいと思います。

1-(3)は、平成30年の4月から新ステーションとして、西浦小学校を加えまして、従来の36から1増えましたので37ステーションで運行しております。

なお、その巡回日時については、市広報の掲載回数は減っておりますけれども、広報の掲載日時と案内リーフレットを公民館やステーションに配布するとともに、ホームページにも掲載して周知に努めている次第でございます。

1-(4)、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスについて、チラシやホームページ上で紹介するとともに、昨年6月25日付で、共同データベースに参加登録し、レファレンスサービスの内容が充実してまいりました。今後も研修等を通じて、職員のレファレンス対応能力の向上に努めてまいりたいと思います。

○事務局

続けて、資料2の3ページの図書館協議会の意見の案について、御説明します。これは、各項目の順番で、意見を配列したものです。

〔p.3 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

ただ今の御説明に対して、質疑・御意見・補足等はありませんか。

では、私からですが、高齢者の利用が増えているというのは、A4の1枚物の資料に出ているように、個人館外貸出状況で年齢別の利用者状況が出ております。66歳以上の年齢幅が大きいので比較が難しいですが、高齢者層の貸出冊数・貸出者数が一番多くなっていますね。登録者数は、他の年代別の方が多いところもありますので、高齢者はリピーターが多いということだと思えます。いずれにしても、これから高齢者の利用がますます増加していくと思っております。

そして、図書館利用状況推移が裏面に出ておりますけれど、来年度の図書館サービス振興基本計画を策定する際には、経年変化のグラフもあるとわかりやすいですね。

それで分類別貸出冊数が出ておりますけれども、図書館は十進分類法で図書資料が分類されておまして、0から9類までに分けられているのですが、この利用状況が図書館年報の中では、一般書でくくられています。それだと、あまりにも範囲が広いので、どの分類の貸出が多いのかを分析しやすいように、分類別の統計も、年報に出していただければと思います。

年報の様式を変えるのは、なかなか難しい面もあるかと思いますが、御検討いただければと思います。

○館長

ただ今の年報の件について、貴重な御意見をいただきましたので、今後検討していきたいと思いますが、1点だけ。今までの年報は図書館協会の様式にのっとったものでしたが、防府市の基本計画にのっとった7項目に年報を変えるべきではないかという御意見を、昨年度、承っておりますので、それに合わせて来年度、令和元年度の図書館の年報から、様式を変更して、今回の協議会と同じように1から7の項目に分けて記載するようにしております。

○議長

よろしく御検討をお願いします。

他に御質問はありますか。

図書館1-(2)で、以前から研修室の空調が効きにくいという御意見があるのですが、これについては、空調設備を変えとなると、かなりの金額がかかると思われそうですが、ルルサスの3階に図書館がありますので、研修室の室外設備をどうするかとかいろいろ問題があると思いますが、空調の設備については、

いかがですかね。

○事務局

以前から、研修室の空調の効きが悪いということで、原因がはっきりしませんでした。何度か業者に確認をしてもらったのですが、なかなかわからなくて、今回、夏の空調の準備で業者の点検が入ったのですが、その時にモーターの音がだんだんおかしくなっているので、空調の送風のモーターに問題があるのではないかということで、ある程度、原因が特定されました。今年度の予算で対応しておりませんでしたので、今後、高額な修繕になりますので、予算の確保について検討していきたいと考えております。

○議長

よろしく申し上げます。

国立国会図書館のデジタル資料送信サービスやレファレンス協同データベースなど、いろいろなサービス活動を広げておられるのは、評価できますね。

それと、移動図書館のことで返却ボックスがあるとよいとありますが、公民館の返却ボックスはどうですか。

○事務局

返却ボックスではないのですが、公民館の開館中に職員へ申し出ていただければ、図書館の本館で借りた本も移動図書館で借りた本も返却を受け付けております。このことも、広報を進めていきたいと思っております。

○委員

それは、私が記入したのですが、移動図書館や公民館というのは、時間が決まっていて、なかなかいけないという状況ですので、他市で返却ボックスのあるところをごぞいまして、便利だなと思ひまして、書かせていただきました。

○議長

御検討いただければと思ひます。

移動図書館の利用が増加しているのは、うれしいことですね。

それでは、2の御説明をお願いします。

○館長

2-(1)、子ども読書フェスティバル(5/27)、図書館まつり(10/20)を開催しましたが、この2つのイベントにつきましては、各実行委員会やボランティアの皆様方と協働で実施したものでございます。

なお、子ども読書フェスティバルの方は、子どもの参加が少ないとの御意見をいただいたことから、今年度、令和元年度につきましては、絵本作家の岡本よしろうさんとともに、顔はめパネルを作るというワークショップを企画いたしましたところ、子どもたちの参加も多く、非常に盛り上がりました。

ただ、午後の企画では、若干子どもの参加が少ないということで、引き続き内容の充実に努めてまいりたいと考えております。

図書館まつりにつきましても、マンネリ化を危惧する御意見があり、実行委員会の皆様と相談しながら、今後内容を再検討していきたいと考えております。

2-(2)は、防府図書館ボランティア連絡会議を1月24日に開催しました。障害者サービスリーフレットの点訳版・音訳版の作成や、サービスの提供先の拡大、例えば老人福祉施設などという提案があり、可能なところから実施する方向で進めています。

また2月には、図書館ボランティア養成講座を4回開催しました。参加者の皆様の御意見も踏まえ、今年度は若干内容が難しいという御指摘もございましたので、未経験の方でも参加しやすいような内容の検討をしているところでございます。

○事務局

続けて、皆様からいただいたコメントの中に、2の項目に図書館利用者懇談会がないという御意見をいただいたのですが、30年度の計画を策定する時に、ある程度、項目を整理しまして、利用者懇談会につきましては、3の項目に記述し、まとめさせていただきます。

[p.4 図書館協議会の意見(案)読み上げ]

皆様の御意見を伺いたいと思います。

○議長

ただ今の御意見に補足・御質問等がございましたら、いかがですか。

図書館まつりのマンネリ化は、例年、同じ内容がという御意見だと思えますが。

○館長

補足します。毎回、イベントの後にアンケートを実施しておりますが、その中に、毎年同じだという御意見があり、課題に記載しました。

○議長

子ども読書フェスティバルの午後のおはなし会には、子どもの参加が少なかったですね。近頃、開催しているおはなし会の参加は、幼児の参加は多いようですけれども、小学生の参加は少ないのですかね。

○委員

おはなし会ですが、小学生の参加は、ほとんどありません。赤ちゃんから幼児の参加が多いですね。お母さんは、子どもを連れて出ていく場所がほしいのです。それで、受け皿になっているかなと思います。

子ども読書フェスティバルの午前中ですが、今年は大変盛り上がったので、すごくよかったですと思います。先生も楽しんでいらっしやいましたね。

しかし、それが午後まで続くというのは、無理なのではないかと思います。1日中、午前に参加した子どもが、お昼ご飯を食べて、午後も残るとというのは、難しいのではないかと思います。時間的にも長いかなと思います。

○議長

はい。従来は、午前中は、児童文学講演会で、今年はワークショップという形をとったわけで、趣向を変えてみたのですが、午後の子どもさんの参加が少ないことについては、以前、西浦幼稚園・保育園の子どもたちに実演してもらいまして、その時は本当に多かったので、ああいう形で、保育園や幼稚園、小学校の子どもたちが、実際に参加、出演してくださるといいのですが、なかなか難しい状況です。

○委員

そうすると、プログラムが違うということになりますよね。午後に来たい人たちは、幼稚園のお子さんと、その御家族がいらしたので、とても賑わったということでしたかね。

午前中から、ずっといてというのは、やはり無理ですよ。だから、そこはプログラムを考えるのだったら、切り離して考える方がいいのかなとは思いません。

○議長

そうですね。

○委員

今年の子ども読書フェスティバルは、ワークショップを楽しみにしていた、うちのクラブの保護者がいたのですが、午後からは子どもが図書館に行ってしまうと、保護者だけがお話を聞いたのです。子どもに聞かせたかったのですが、午前中で疲れてしまったということなので、今、他の委員さんがおっしゃったように、午前中のワークショップ、午後のおはなし会は別の子どもでと考えるべきで、私たちも広報をしていきたいと思います。

○議長

来年は、記念すべき第10回目の子ども読書フェスティバルになるといいと思いますけれども、図書館も御協力をお願いします。

それでは、次の3について、御説明をお願いします。

○館長

3-(1)は、防府図書館独自の企画としまして、ビブリオバトルを3回開催いたしましたが、そのうちの2回目の7月22日は、残念ながら参加者が非常に少なくなったこともありまして、今年度は、5月11月3月の3回に時期を変更しております。

なお、バトラーも、毎回大人、社会人をお願いをしていたのですが、中学生

や高校生のバトラーを検討してみたいと思ひまして、特にプレゼンテーション能力を磨く企画として、ビブリオバトルを利用していただければと思ひまして、今回は、高校生をバトラーとして募集したいと考えております。

また、新たな企画としまして、12月15日に「クリスマスおはなし会」を開催し、好評を得ましたので、今後も継続していく予定でございます。

利用者の声を聞くということで、防府図書館利用者懇談会を11月29日に開催しましたが、図書館を運営していく上でも参考になりますし、新しい企画の開発にもつながることから、昨年の参加者は若干少なかつたのですが、今年は参加者を増やすように広報につとめて参り、より多くの意見を活かしていきたいと思ひます。

展示につきましては、資料の利用に結びつくように、更に工夫していきたいと思っておりますが、特にブラウジングコーナー壁面の展示につきましては、図書館の展示にも使いますが、一般の方も展示ができることを周知していきたいと思っております。

○事務局

〔p.5 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

今の御説明、委員の意見に対してご質問等があればどうぞ。

○委員

中高生のビブリオバトルの参加とか、図書委員の協力ということが出ていますが、実際、今年の子ども読書フェスティバルのワークショップの時に、6年生の子どもが一人で参加していて、参加理由を尋ねたところ、自分は図書委員会の委員長になったため、図書館について関心が出てきたので、図書館はどんなことをしているか知りたくて来たと言いました。それを聞いて、子どもたちの意識が高いなと思ひましたので、ぜひその意欲を外に発表する場に図書館がなってほしいと思ひました。学校の枠を越えて、やりたい子が参加できる場を作っていただきたいと思ひます。学校にしたら、均等にということがあるかもしれませんが、やる気のある所からどんどん出てもらって、すそ野を広げていく方法もできると思っております。

○議長

中高生の参加を呼びかけて、他の図書館まつりでは、中高生が着ぐるみを着て、会場を案内したり、いろいろな参画をしてやっているところもあつたりします。

ただ、呼びかける場合は、中学校ではいかがですか。

○委員

とてもいい考えだと思ひます。関心のある生徒は必ずいると思ひますし、こ

ういう機会に学校以外のところで発表する場があることで、生徒の意識も高まるのではないかと思います。

○委員

中・高校生や大学生と書いたのは、私ではないかと思うのですが、2と3で強調したかったのは、特に高校生にポイントを絞りたいだったのです。市の方では、小・中学校、幼稚園を優先に考えられると思いますが、同じように防府市には高校生や大学生もいるわけですので、市、市の教育委員会ということにとらわれずに、高校生に声掛けをすると、もしかしたら利用促進になるのではないかと思います。

先ほど、館長からビブリオバトルを高校生にも声をかけていくとおっしゃいましたが、私も楽しみにしております。他市では、図書館まつりを高校生の活動の場としているところもあり、高校生にポスター作成を依頼するとか、ということもありますので、防府市は、市や市立という枠を取っ払って、県立であろうと、私立であろうと、そこを巻き込んでいくということが大切だと思います。

○委員

市民会議は、生涯学習課との事業の一つとして、第3日曜日に「家庭の日」親子ふれあいイベントを文化福祉会館や防府天満宮で実施しております。そこでは、短大のボランティアサークルの学生たちが小さな子どもたちを相手に、いきいきと世話をしてくれています。

また、参加した子どもたちや保護者の方も、非常にいきいきした顔で活動しています。そこで、短大にも声をかけたら、時間が許せば協力が得られるのではないかと思います。

○議長

よろしく申し上げます。

では、次に4の御説明をお願いします。

○館長

4-(1)の郷土資料ですが、目標450冊を掲げておりますが、受贈図書で補うことで551冊となり、目標を大きく上回る冊数が収集できました。引き続き郷土資料の情報収集に努めるとともに、郷土資料に関する職員の研修を進めてレファレンスサービスの充実を図りたいと思います。

4-(2)は、防府市教育委員会との共催でアスピラートにて開催しました「上山満之進没後80年展」が非常に好評を得たところでございますが、今年度は9月27日から上山満之進翁の生誕150年展を展示室で開催することにしております。三哲文庫の創設者である上山翁の顕彰に努めたいと思っております。

4-(3)は、来年度が東京オリンピックであることから、国際関係の資料を積極

的に購入していく予定でございます。

○事務局

〔p.7 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

委員の皆様のご意見がございましたら、補足も含めてお願いいたします。

今年は、上山満之進の生誕 150 年であることから展示を続けるということでしたが、他の郷土出身人物についての展示等は、いかがですか。

○委員

話が戻ってしまいますが、すみません。

今、図書館まつりの古本市は、とてもにぎわっています。その人たちの流れを、なんとか他の所で食い止められないかなあと考えておりました。古本購入者の方は、自分が本を探すのに夢中ですし、その隣で私たちがボランティアの活動状況をいろいろと資料を展示しましたが、これもマンネリ化していて、あまりご覧になりません。できればその場所に、3 階の資料館(展示室)に行けない人たちを呼び込むためにも、こういう展示もしておりますということで、三哲文庫や他の郷土資料なども下ろして、図書館まつりにも変わった企画を取り込んでみたら、協力はできると思いますが、いかがでしょうか。

○議長

名案だと思いますが、セキュリティーの問題が出てくるとはと思いますが、いかがですか。

○館長

御提案について、直ちにこういう展示をしますと言うことは難しいですが、御意見を承りましたので、どういうことが可能か等持ち帰りまして、検討させていただきたいと思います。今後、図書館まつりの実行委員会が予定されていますので、その中で提案をさせていただこうと思います。

○委員

郷土資料について、ホームページからは探しやすくなったのですが、開架からは、まだ分かりにくいので、なんとかならないかを考えていただきたいと思います。

○館長

ありがとうございます。

掲示等、できるだけ工夫いたしまして、利用者の皆さんが使いやすいように検討してまいりたいと思います。

○議長

9 月 27 日に生誕 150 年記念式典等が催されると思いますが、図書館管理室から簡単に説明していただきたいと思います。

○事務局

9月27日に上山満之進生誕150年事業ということで、式典等計画しております。まず、中央町の旧図書館跡地が都市公園になっておりますが、通称名を「三哲文庫記念公園」とするということで、公園で除幕式を計画しております。その後、ルルサスに移動しまして、2階多目的ホールで講演会を計画しています。その次に、図書館の展示室において、絵画「東台湾臨海道路」の展示をするという3点セットで、現在、事業を計画しております。

それとは別に、これは市ではございませんが、8月25日(日)にアスピラートの音楽ホールで、上山満之進に学ぶ会が講演会を計画しておられます。紹介をさせていただきます。

○議長

ありがとうございます。ご参加いただければと思います。

郷土資料につきましては、大ベテランの前館長がおられて、市民の皆さんも職員自体も頼られていたところがあると思いますが、研修等で郷土資料等のレファレンスのレベルアップもしていただきたいと思います。よろしく願います。

○館長

続きまして、5-(1)ですが、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムが整いまして、学校支援図書の利用が増えました。貸出件数・冊数共に、前年度のおおよそ2倍となりました。

また、昨年の図書館協議会で出されました要望を踏まえまして、今年度は、これまでのところ小学校6校に対しまして、学校の選書会に使用する新刊書のリストアップ、貸出を行いました。秋以降も、小学校2校が予定されておりますし、今後もしもご要望があれば、積極的に支援を続けていく予定でございます。

5-(2)は、県内外の図書館と資料の相互貸借や研修等を行いまして、博物館や美術館とネットワークを通じてMLA連携を進め、サービスの質の向上に努めました。また、ソラールの開館20周年記念、なかでも「ニコラ・テスラ展」に合わせて資料展示を行うなど、防府市文化振興財団内の他機関と連携した資料展示やイベント参加を行うとともに、毎月1回連携部会会議を開催しまして、連携企画の立案を行ってまいりました。

○事務局

〔p.8 図書館協議会の意見(案)読み上げ〕

○議長

委員の皆様方から、御意見を願います。

学校図書館関係につきましては、防府市は県内では先進的なモデルケースになっているかと思っております。

まず、各学校図書館の全蔵書データベースを作成しているところも防府だけではないか思いますし、それがオンライン・ネットワークで学校図書館間、市立図書館と結ばれていて、それを活用しながら学校図書館図書の支援をしているというので、大変望ましいことだと思っております。今年、全小中学校図書館のPCによる図書館管理システムを、現時点での貸出状況がわかるシステムに変更するということですが、それについて、御説明をお願いします。

○事務局

この度の学校図書館管理システムについて、御説明します。

今現在は、市立図書館と学校図書館の横断検索システムが稼働しておりますが、こちらはそれぞれの学校から図書データだけを送りまして、市立図書館と合わせたデータベースにして、それぞれの学校に所蔵しているかどうかの状況が確認できるシステムになっています。各学校については、それぞれ単独でシステムを稼働しておりますので、学校同士、システム同士では横のつながりがなかったのですが、この夏休みに新しいシステムに更新する予定にしております。こちらについては各学校の貸出の状況も一つのサーバで管理しまして、学校が持っている図書が、今時点で図書室にあるのか貸出されているのかがリアルタイムでわかるシステムにすることにしております。学校間の相互貸借を促進するよう運営をしたいと考えておりますが、実際にシステムをどのように構築するかということについては、今年度一年かけて、学校間の相互貸借システムの体制を整えていきたいと思っております。

○議長

9月からですか。

○事務局

稼働は、夏休み明けの9月からにしております。8月の後半に各学校にPCを設置する予定にしておりますので、学校には夏休み中に貸出ができなくてご迷惑をおかけしておりますが、9月からは、今よりいい状態で稼働したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長

学校司書にも取り扱いの研修があるのですか。

○事務局

今から連絡をするのですが、夏休み中に、学校の先生方に取り扱いの研修を行いまして、学校司書は9月からしか勤務がないので、9月の最初の日研修を予定しております。

○議長

よろしく申し上げます。

現時点での図書の動きが分かると、またネットワークシステムの効果が上が

ると思いますね。

6について御説明をおねがいします。

○館長

6-(1)は、子どもたちに読書活動への興味・関心を持ってもらう企画としまして、小野小学校でミニビブリオバトルを開催したり、あるいは子ども家庭支援センター海北で絵本の読み聞かせの開催をしたりと出張サービスを行いました。今後も要望があれば、出かけてまいりたいと思います。

また、新たな出張サービスとしまして、毎月第3日曜日「家庭の日」にイオン防府店で防府図書館おはなし会を開催しています。

さらに図書や図書館への理解を深めるとともに、職業について学ぶ機会として、小学生対象に子ども図書館員(今年は7/29,8/2の2回)を行っており、その他にも、中高生対象に職場体験を積極的に受け入れてまいりました。

また、防府市教育委員会と共催しました図書館を使った調べる学習コンクールにつきましては、コンクールへの参加者を対象に「チャレンジ調べる学習」と題して、調べ方を学ぶ講演会とブックトークを開催しましたが、より密度の濃い内容とするために今年度は「調べる学習にチャレンジ」と題しまして、調べる学習の進め方やまとめ方について、夏休み中の土曜日と月曜日、全部で9日間、27コマになりますけれども、職員が個別にアドバイスをするというふうに変更にまいりました。

6-(2)は、子どもたちの読書活動を支援するために多くのボランティアの皆さんが熱心に取り組んでおられますので、図書館としましては、おはなし会や研修会でブックトークを行うなど、皆さんと協働して、読書活動の推進に取り組んでまいります。

ボランティアの人材確保と養成のための講座を設けていますが、その甲斐あってか、今年度、新たに図書館ボランティアまーぶるというボランティアグループが発足したのは、何よりでございます。

○事務局

〔p.9 図書館協議会の意見(案)読み上げ〕

○議長

ただ今の御説明に対する意見に、補足等ございましたら、お願いします。

図書館は、出張サービスというか、移動図書館の定期的な出張されていますが、職員は大丈夫ですか。

いろいろと活動を広げておられて、市民としては、ありがたいのですが。

○委員

新しい企画で、いろいろと取り組んでいただいております、ありがたく思っているところですが、第3日曜日に実施されるイオン防府店ででの出前おはなし会の

時間帯はいつですか。

○館長

午後2時半から1時間程度です。

○委員

私たちの会では、家庭の絆・地域の絆の希薄化が進んでいる今日、教育委員会をはじめ、小中学校の御協力をいただき「家庭の日」運動の普及啓発に努めているところです。また、先ほどお話ししましたように短大の学生たちにも協力してもらい、毎月第3日曜日に「家庭の日」親子ふれあいイベントを午前10時半から午後2時半まで開催しております。図書館の出前おはなし会と一部分重なるところもありますが、内容的にも同じものも違うものもあるかと思えます。すけれども、両方で取り組んでいくのは、とてもいいことかなと思います。

「家庭の日」にかかわる事業を、図書館や他の事業でもいろいろな形で取り組んでいただいていることは大変ありがたく、子どもたちの健全育成の面からも図書館の果たす役割は大変大きいので、また盛り上げていっていただくとありがたいと思います。

○委員

ミニビブリオバトルについて、簡単に説明してほしいのですが。

○図書館員

この間行ったミニビブリオバトルですが、実際、いきなり(バトラーとして)参加してもらうのは難しいので、夏休み前に実施したこともありまして、「夏休みに子どもに読んでほしい本」を職員3人が発表をして、子どもたちに手を挙げてもらって参加してもらう方法を実施しました。一人(1冊)3分ぐらいの短い紹介をして、質疑・応答も短くして、子どもが飽きないように時間を短く、冊数を少なくして、テーマも子どもが好きなものに沿って紹介をしました。

○議長

職員がされるブックトークも、サークルの学習会の時にさせていただいたり、おはなし会でもさせていただいたりしておりますが、大変助かっております。

それでは、最後の7について、お願いいたします。

○館長

7-(1)については、視覚障害者用の音声付インターネットサービスにつきまして周知するため、リーフレット「防府図書館障害者用サービスのご案内」を作成し、ホームページ上でも紹介いたしました。

なお、その点字版がボランティア「青い鳥の会」の皆さんにより3月に発行され、その受贈された資料を図書館資料として登録するとともに、市内の公民館等へも配布させていただきました。

また、今年度ボランティア「翠の会」の皆さんがその音訳版に取り組んでい

らっしゃっているところでございます。

7-(2)は、リーディングルーペやリーディングトラッカー、助聴器を新たに導入しましたが、郵送貸出や対面朗読を含めて、まだまだ利用が少なく、今後さらに広報に努めてまいりたいと考えております。

○事務局

〔p.11 図書館協議会の意見（案）読み上げ〕

○議長

ただ今の御説明に対する意見に、補足等ございましたら、お願いします。

○委員

協議会の意見の中にあつた、ルルサス1階の空き店舗が障害者や高齢者のために活用できたら夢のようですが、あの場所は、図書館が駅前図書館で3階にあることが、最初はいいなと思っていたけれど、エレベーターの位置もわかりにくいし、よく聞かれたりもしますので、あの空き店舗は立地が良いので、1つの子どもや障害者の図書館コーナーができれば、3階にも大きな図書館がありますよという窓口になるのではないかと思うのです。確かに予算がいると思うのですが、あの場所はいい場所ですので、妊婦さんや小さいお子さんのお母さん、障害者の方に図書館の導入口としてよいのではないかと考えました。

○議長

協議会意見の最後、6-(1)でもそういうことがでていましたが、御検討を。

○部長

現在出ております新庁舎の中にも市民活動の場所を設けるべきではないかという御意見があります。それから、文化福祉会館がかなり古くなってきておりまして、この建て替えを庁舎建設と一緒に検討してまいろうとしております。その中で、新庁舎にすべてを入れるというのが難しいので、今後の検討課題の一つにルルサス防府の活用が上がってきておりますので、皆様の今日の御意見もその中に反映しながら、今後、検討してまいりたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いします。

○議長

ぜひ、よろしく申し上げます。

私は、光市の図書館協議会委員をしておりますが、そこでも高齢者向けの運動教室などを開催をという御意見もありましたので、ご紹介しておきます。

今、職員の方は、大変お忙しい中で、新たなチャレンジが難しい面もあるかと思っておりますけれども、御検討いただければと思います。

○委員

7-(1)福祉施設や高齢者施設でのブックトークの実施に期待するとあるのですが、要望があつたとか、どこかで有効だったとかがあるのでしょうか。

○館長

今年度、実は牟礼公民館で秋口に高齢者教室でブックトークの依頼がありましたので、こちらの方に参加する予定でございます。

また、御相談・御要望がございましたら、都合がつく限り出張サービスという形で検討してまいりたいと思います。

○議長

それでは、全体を通して何か御意見・御質問等ございましたら、お願いします。

では、私の方から一つ。図書館自体の自己評価で、一昨年度までのものは、Aが1つだったものが、今回は6つぐらいに増えているのですが、今回は、他と比べての相対評価ではなく、前と比べて良くなった・よく努力したという意味での絶対評価でAとされたのでしょうか。

確かに、ずいぶん図書館は活動を広げて頑張っておられるので比べてよくなっておられるので、Aになっていると思われませんが、いかがでしょうか。

○館長

御指摘のとおりでございます。例年通りおおむね計画通りできたということをお知らせしておりますので、新たな企画等で対前年度という考え方をしております。昨年、自己評価が厳しいという御指摘があったように聞いておりますので、前に一歩出た部分は積極的に自己評価してAとしておりますので、御理解いただけたらと思います。

○議長

これからも御努力いただけたらと思います。

○委員

一昨年度の評価は、Aが一か所だけだったのですが、図書館の方は、自分たちに厳しく評価をしておられると感じておりました。今回の昨年度の評価はAが増えているので、厳しくということも大切ですが、Aが増えることは職員の皆さんのやる気にもつながってくるだろうと思ひ、よかったなと聞いておりました。

○委員

他のことですが、先ほど移動図書館のサービスポイントが増えて、利用は増えているけれども、入館者数は減っていると言われたことについてですが、よく考えると、西浦小学校のサービスポイントが増えているわけです。サービスポイントが増えれば貸出冊数が増えるのは当然なのかなと思ひました。移動図書館車は、サービスポイントの見直しをかけていただきながら、高齢者や障害者が出向いていけるような体制づくりを併せて考えていただきたいと思ひます。

隣の市も移動図書館車が、小学校を転々と回っています。子どもたちが来るので数は増えると思うのですが、それで本当にいいのかなと思います。移動図書館というのは、全域サービスをするのが目的ではないかと思うので、1つは地域に開放する小学校をポイントにするのは大切なことですが、何かの見直しの際に、障害者や高齢者などなかなか図書館まで行けない方が減る体制作りが大切だということと、この会議には教育長や教育部長が出席されているので、小学校を回っているから子どもたちの資料が充実しているということではなく、学校図書館の資料の充実もお願いしたいところです。よろしく願います。

○館長

今御指摘のコースの見直しでございますが、毎年統計を取っておりまして、利用状況を見ながら、だいたい半年に1回チェックをし、場合によっては、1年、2年というスパンでコースの見直しを行っております。

また、高齢者・障害者の施設ということでございますが、現在は、2か所の養護老人ホームをステーションとしております。ご利用もかなり増えているように見えております。今後も引き続き検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。

○議長

市の広報の発行形態が変わりまして、市広報15日号の移動図書館車の記事が無くなったので、PRの仕方もこれから工夫していただかななくてはならない面があるかと思っておりますので、御尽力いただければと思います。

○委員

今年度から1日号の図書館の行事予定がなくなりました。スマホのアプリでかざせばわかるようになってきているらしいのですが、広報に予定表がなくなったため、おはなし会も無くなったと思われた方がありました。今までのように、図書館のおはなし会が載っていた方が良いと広報へ要望しましたが、対応はできないようです。言っておいた方が良いかと思いました。

○議長

広報の記事の配列の仕方も変わって、今までよりわかりにくいという御意見もあるようです。

○事務局

広報の件に関しましては、担当と話を詰めまして、なるべく行事についてはわかりやすく広報できるように検討していきたいと思っております。

今回の第1回の会議を踏まえまして、事業の実施状況の評価をホームページで公開したいと思っておりますので、この後お気づきの点がありましたら、お知らせいただけたらと思います。

それから、今回の会議では、図書館の平成30年度の評価を御協議いただきましたが、第2回は、10月ごろの開催を考えております。第2回では、今年度事業の中間報告等を行う予定にしております。今回の事業の説明の中でも、今年度予定していることや実際に実施していることを、多少説明いたしましたけれども、今回の評価を踏まえて、今年度の行事に反映できる部分は反映して、その内容は10月にお知らせできるかと思えます。今年度ですぐに対応できないところにつきましては、次年度令和2年度の事業計画の作成の時に反映できるように検討する予定です。

○議長

それでは、ほぼ図書館協議会の意見(案)の(案)がとれた形でホームページ上に公表されることになろうかと思えます。修正点がありましたら、事務局へ御連絡をお願いします。

本日は、令和元年度第1回の会議ということで、平成30年度図書館事業の実施状況について説明を受け、評価について協議を行いました。

これをもちまして、本日の議題については、すべて終了しました。